

基本理念

資料No.1

	(1) まちづくり 暮らし 生活環境	(2) ひとづくり 人材育成 社会	(3) しごとづくり 産業振興 地域経済
I 将来像 Vison	高齢者 ①高齢者を呼び込むまち ②高齢者が社会を支える ③高齢者が健康を保てるまち ④高齢者が死ぬまで元気で幸せに暮らせるまち ⑤高齢者が住みやすい、働きやすいまち ※高齢者が安心して暮らせるまち ※高齢者が活躍できるまち ※高齢者(定年退職者)が移り住みたいまち	高齢者 ①高齢者が子供を育成(教育)するまち ②子供と関わることで高齢者が健康に暮らせるまち	高齢者 ①高齢者がいつまでも働けるまち ②高齢者が農作業に従事し健康を維持するまち ③高齢者の活躍を産業振興につなげるまち ④高齢者の生きがい(働く場所など)があり、体力、健康が維持できるまち
	子供 ⑤外国人(ALTなど含む)と子供が英語でコミュニケーションをとれるまち	子供 ③勝山市だからこそ育てられるひとづくり ④将来の科学者を輩出するまち ⑤将来、勝山で活躍できる人材育成 ⑥教育、体力 日本一(県内でNo.1) ⑦勝山市の教育を受けさせたいと思うまち ⑧創造力を持つひとづくり	子供 ⑤勝山の観光を活かす教育を推進し、観光産業を発展させる
	全体・その他 ⑥市全体のコンパクトシティ ⑦各地区でのコンパクトシティ(小さな拠点) ⑧市全体でのDX化、スマートシティ ⑨公共交通(バスなど)の自動運転 ⑩外国人と共生できるまち ※楽しいをキーワードとした暮らし ※雪に強いまち	全体・その他 ⑨地元の大人が子供を教え、また大人が学び直す「生きる方法」を教える学校の設置 ※恐竜を活かし勝山から世界に発信する教育機関への発展	全体・その他 ⑥一人当たりの所得向上 ⑦リターンを得ることを意識した投資 ⑧観光産業の発展 ※企業誘致によるUIターンの推進 ※恐竜を核とした観光産業(宿泊など)の推進 ※産業という視点以外の農業の推進
II 価値 Value	高齢者 ①健康寿命が長い ②地域(血縁を中心)のつながりが強い ③地域(血縁を中心)のネットワークが残る	高齢者	高齢者
	子供 ※ふるさと教育(ESD)による地域と学校(子供)の結びつきが強い	子供 ①教育、体力 日本一(福井県) ②子育て環境の充実 ③教育環境の充実 ※保育料無償化、児童センター無料、子供医療費助成対象拡充 ※ふるさと教育(ESD)、自然体験学習が充実	子供
	全体・その他 ⑤外国人が住みたいと思う日本の原風景が残る ⑥雪または雪景色 ⑦高齢化率が高い(高齢化社会の最先端) ⑧これまで20年間地域ごとのまちづくりを大切にしてきた ⑨災害に強い ※広報かつやまを読む市民が多い ※污水处理人口普及率、水洗化率が高い ※貸館できる公共施設が多い ※道路除雪がきれい ※幸福度日本一(福井県)	全体・その他	全体・その他 ①雪(冷熱エネルギー) ②魅力ある観光地 ※ジオパークや恐竜 ※県外観光客が多い ※恐竜
III 行動指針 Way	高齢者 ①高齢者が住みやすいインフラの整備 ②高齢者のコミュニケーションの場の創出 ③知らない人同士(血縁外)の人間関係の構築 ④高齢者の健康、社会性の維持 ⑤世代間での知識、ノウハウの伝達 ※高齢者が利用しやすい公共交通の構築	高齢者 ①高齢者の社会性を維持 ②高齢者が子供を育成(教育)し、それに対し対価を払うシステムの構築	高齢者 ①退職者の人材バンクの整備 ②高齢者がいつまでも働きやすい環境づくり ③生産人口(65歳)の上限をあげる
	子供 ⑥子育てに関する市外(外部)からの評価を行う ※産婆さんの誘致 ※出産体制の整備	子供 ③子育て支援への集中投資 ④受験のための勉強ではなく、社会で生きていくための勉強を推進	子供
	全体・その他 ⑦マイナンバーカードの多目的利用 ⑧企業のDX化の支援 ⑨地区と行政の関係性を修正(地区の自立を促す) ※克雪(住宅)の推進 ※地区内外の連携を推進 ※新しい区(少人数の区が負担にならない)の在り方 ※市中心部から離れた地域の活性化 ※雪に強い生活道路 ※他市町との間の公共交通	全体・その他 ⑤行政情報へのアクセシビリティの向上 ⑥市民とつながる情報局の設置 ⑦多文化教育の推進 ⑧大学等との積極的な連携 ※各集落で子供と高齢者が集うサロンの設置	全体・その他 ④働く世代の生産性向上 ⑤地場産業への継続的支援 ⑥高齢者が住みやすいインフラの整備に伴う仕事の創出 ⑦企業のコンパクト化 ⑧観光の産業化による市民所得の向上 ※企業誘致 ※産業としての農業の確立 ※宿泊施設の誘致 ※恐竜以外の観光資源の活用 ※若者が集まりやすい施設